

(別紙)

立 木 調 書

1 所在地

2 調査年月日 年 月 日

3 立木調書

番号	樹 種	胸高直径 (cm)	樹高 (m)	形質区分	備 考

- ※ 1. 地番毎に立木調書を作成すること。
- ※ 2. 対象立木に番号を明示することとし、立木調書と整合・確認がとれる状態にすること。
- ※ 3. 胸高直径は2cm括約で測樹すること。
- ※ 4. 樹高はメートル単位で測樹することとし、1メートル未満の端数は切り捨てること。
- ※ 5. 形質区分について、直材で末口径が7cm以上の立木を基準とし、「上」（4m用材が2丁採材）、「中」（4m用材が1丁採材）、「下」（上及び中以外）、「枯」（枯死木）で判別、記載すること。
- ※ 6. 枯死木について、胸高直径及び樹高の記入は不要とする。
- ※ 7. 二股に分かれた立木の取扱いについて、胸高（地面から1.2m）より上で分かれている場合は1本の本として取扱い、胸高より下で分かれている場合は2本の本として取扱い、それぞれで測樹すること。